

令和七年度

文学部 歴史学科

学校推薦型選抜 小論文

〔注意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所縦書きで記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。受験番号・氏名が記載されていない答案は無効となる場合がある。
- 5 この冊子は、問題（二頁）および解答用紙（一枚）からなっている。
- 6 この冊子のうち、落丁・乱丁、印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 試験時間中の退室は認めない。
- 8 問題は持ち帰ること。

【設問】

次の文章は、およそ一〇〇年前に書かれたものである。この文章を踏まえて、現代社会における歴史との向き合い方についてあなたはどのように考えるか、具体例をあげながら八〇〇字以内で論じなさい。なお、句読点やカッコ、数字はそれぞれ一字として数える。（配点 一〇〇点）

【中略】

（著作権の関係で不掲載）

【中略】

（著作権の関係で不掲載）

（著作権の関係で不掲載）

（著作権の関係で不掲載）

オルテガ・イ・ガセット著、佐々木孝訳『大衆の反逆』（岩波書店、二〇二〇年。原著は一九三〇年。なお引用にあたり一部の表記を改めたところがある。）

（＊）オルテガ・イ・ガセット：スペインの哲学者（一八八三―一九五五）。『大衆の反逆』は、同時代批判の書としてスペイン語で書かれ、英語、フランス語、日本語など複数の言語に翻訳された。